

千代倉歴史館企画展 千代倉家の奥座敷

細根山 小山園

ほそねやま

しょうざんえん

2025年9月11日(木)～10月18日(土)

木・金・土・日曜日のみ開館 10時～16時30分(入館は16時まで)

協賛 東急リパブル株式会社 中部支店 名古屋栄センター

山の名の

細根もふとく

なるみがた

ちよくらべする

八千本の松 春蔭

現在の細根山
湛然堂跡地周辺



小山園図（「小山園記」付属）から柿霊祠

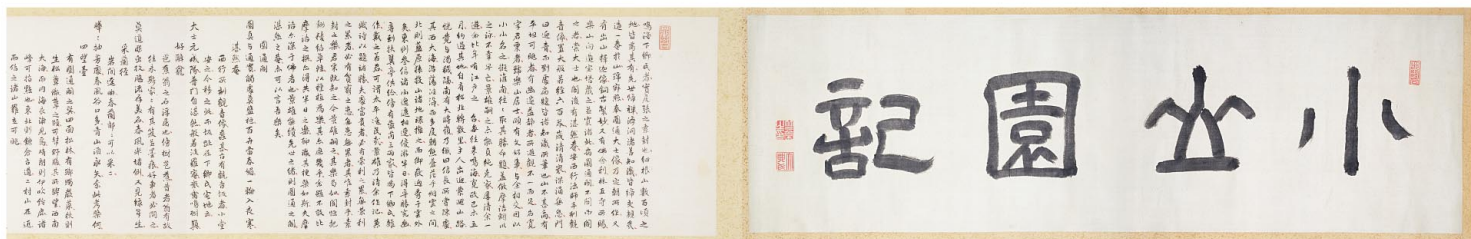


千代倉歴史館

Chiyokura Memorial Museum at Narumi-stage, Tokaido

協賛

東急リパブル



▲梅莊頭常(大典／相国寺住持)筆 小山園記(巻頭) 寛政12年(1800)



▲尾張名所図会 前編巻五から「細根山」 天保15年(1844)刊 ※加工画像

細根山 小山園

千代倉歴史館企画展 千代倉家の奥座敷

ほそねやま

しょうざんえん

旧鳴海村の東南端に広がる細根山は、江戸時代の初めから千代倉家が所有した別荘地・墓所です。二代当主知足の頃から本格的な整備が始まり、その後、代々当主によって庵や亭、堂祠が加えられ、六代学海・七代伝芳の頃には、「十四景」を備えた名園「小山園」として遠近に聞こえました。松山を桜や藤などの花木が彩り、四季を通じ楽しめました。が、一九五九年の伊勢湾台風によってほぼ壊滅し、今はその跡地が「細根山オアシスの森」として公開されています。

今回の展覧会では、往時の細根山の様子を伝える資料を紹介いたします。



▲十時梅匠(儒学者)筆 小山園図 寛政10年(1798)



▲内藤東甫(尾張藩士・画家)筆 湛然堂旧蔵観音像図 天明4年(1784)



▲小山園図(「小山園記」付属)から細根山全図

利用案内 次回 展覧会予定 新年を寿ぐ 2025年11月20日(木)～2026年1月18日(日) ※ただし、12月15日(月)～1月7日(水)は休館

開館日						
展覧会開催中の						
木曜日から日曜日						
(展覧会は年4回程度開催)						
月	火	水	木	金	土	日
—	—	—	●	●	●	●

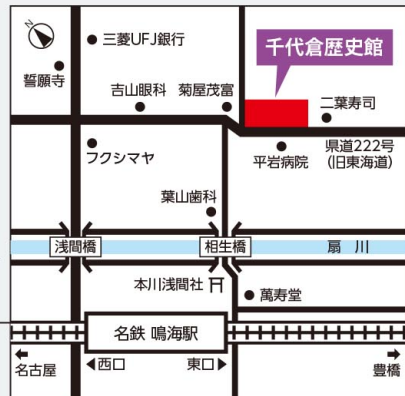
※その都度ホームページ等でお知らせします。

開館時間
10:00～16:30
(入館は16:00まで)

観覧料
一般 500円
高大生 300円
小中生 100円

- 団体見学ご希望の方は2週間前までにご相談ください。
- ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
- 駐車場はございません。

アクセス
名鉄鳴海駅東口から徒歩4分



千代倉歴史館

Chiyokura Memorial Museum at Narumi-stage, Tokaido

お問合わせ等は
ホームページまで



〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字相原町27